

## 希少野生動植物種の国内流通の現況

### 1. 国内の流通に係る情報（個体等登録、譲受け等の届出件数）

#### (1) 分類群別の登録状況【生体】

2017年から2023年の間に合計1,000件以上の登録数で、増加数が多かった種は上位から順にアジアアロワナ、オニソテツ属全種、ヨウム、インドホシガメ、ビルマホシガメであった。ワシントン条約の登録繁殖施設がないが増加数が100以上の種としては、インドホシガメ、ビルマホシガメ、アオマルメヤモリ、パンケーキガメ、ワニトカゲ、ハミルトンクサガメ等が挙げられる。

変化率（2017年又は種の保存法指定年と2023年の登録件数比較）の観点では、ニョオウインコが33.0と最も高く、続いてコツメカワウソが10.1と高くなっている。

譲受け等の届出（以下「譲受届」という。）の観点では、100件以上のものは増加数と順位は多少異なるものの、アジアアロワナが最も多く、次いでオニソテツ属全種、ビルマホシガメ、インドホシガメ、ヨウム、マダガスカルホシガメの順であり、増加数が多い種と上位5種は同じであった。

このような登録動向及び譲受届出の分析からは、特定の種における取引需要の集中と、その需要の継続性が明らかとなっている。特に、ワシントン条約の登録繁殖施設を持たない種における顕著な増加は、流通管理上の重要な検討課題として認識される必要がある。

#### ①哺乳類

コツメカワウソとスローロリス属全種が主である。コツメカワウソは2019年の指定後、登録数が急増した。スローロリス属全種は2017年の21個体から2018年の12個体へと減少したが、その後は年間10～20個体程度の水準で登録されている。

#### ②鳥類

2017年から2023年の間に合計100件以上の登録数で、増加数が多かった種は上位から順にヨウムの2,385件、ハヤブサの198件の2種であった。ヨウムは、種の保存法に基づき指定された翌年の2017年から2018年に計900個体を超える登録数となったが、その後は毎年100個体以上の水準で登録されている。

変化率の観点では、ニョオウインコが33.0と最も高く、続いてアカエリハヤブサ8.5、ハヤブサ8.3と続いている。

譲受届の観点では、100件以上のものはヨウムの214件のみであった。

#### ③爬虫類

2017年から2023年の間に合計100件以上の登録数で、増加数が多かった種は上位から順にインドホシガメの1,453件、ビルマホシガメの1,443件、マダガスカルホシガメの769件、アオマルメヤモリの651件、パンケーキガメの356件、ワニト

カゲの 149、ハミルトンクサガメの 139 件の 7 種であった。

変化率の観点では、ビルマホシガメが 9.9 と最も高く、続いておおあたまがめ科全種 7.5、アオマルメヤモリ 6.7、マダガスカルホシガメ 6.3 と続いている。

譲受届の観点では、100 件以上の物はビルマホシガメ 231 件、インドホシガメ 229 件、マダガスカルホシガメ 125 件の順であった。

#### ④魚類

アジアアロワナが圧倒的多数を占めている。2017 年の 6,347 個体から 2018 年の 5,498 個体へと減少したが、2020 年には 8,774 個体とピークを記録した。この急増は、コロナ禍による「巣ごもり需要」が影響した可能性が考えられる。

#### ⑤植物類

オニソテツ属全種の登録が特に多い。2017 年の 2,334 個体から 2018 年の 499 個体へと大幅に減少したが、2021 年に 615 個体、2022 年に 1,255 個体と再び増加傾向にある。

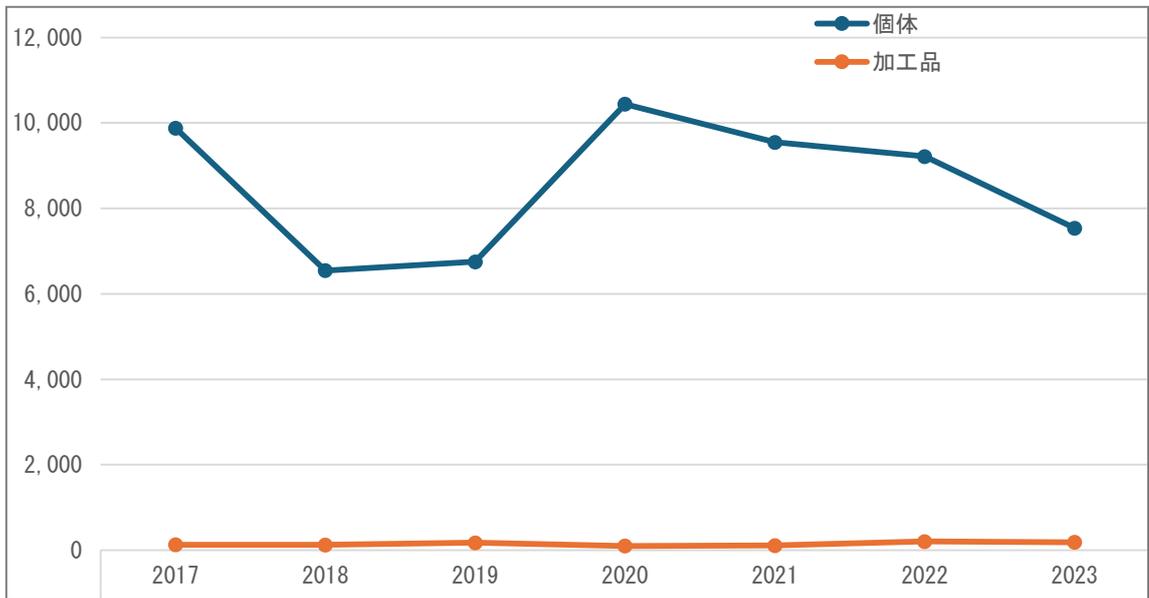


図1 個体等における登録数の年別推移

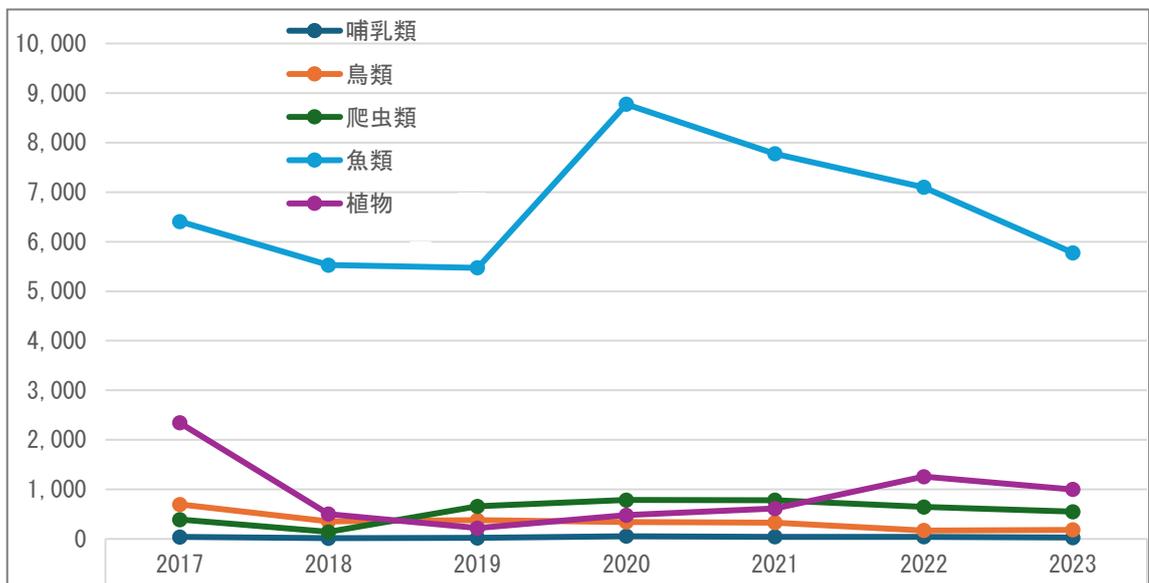


図2 生体における分類群別の登録数の年別推移

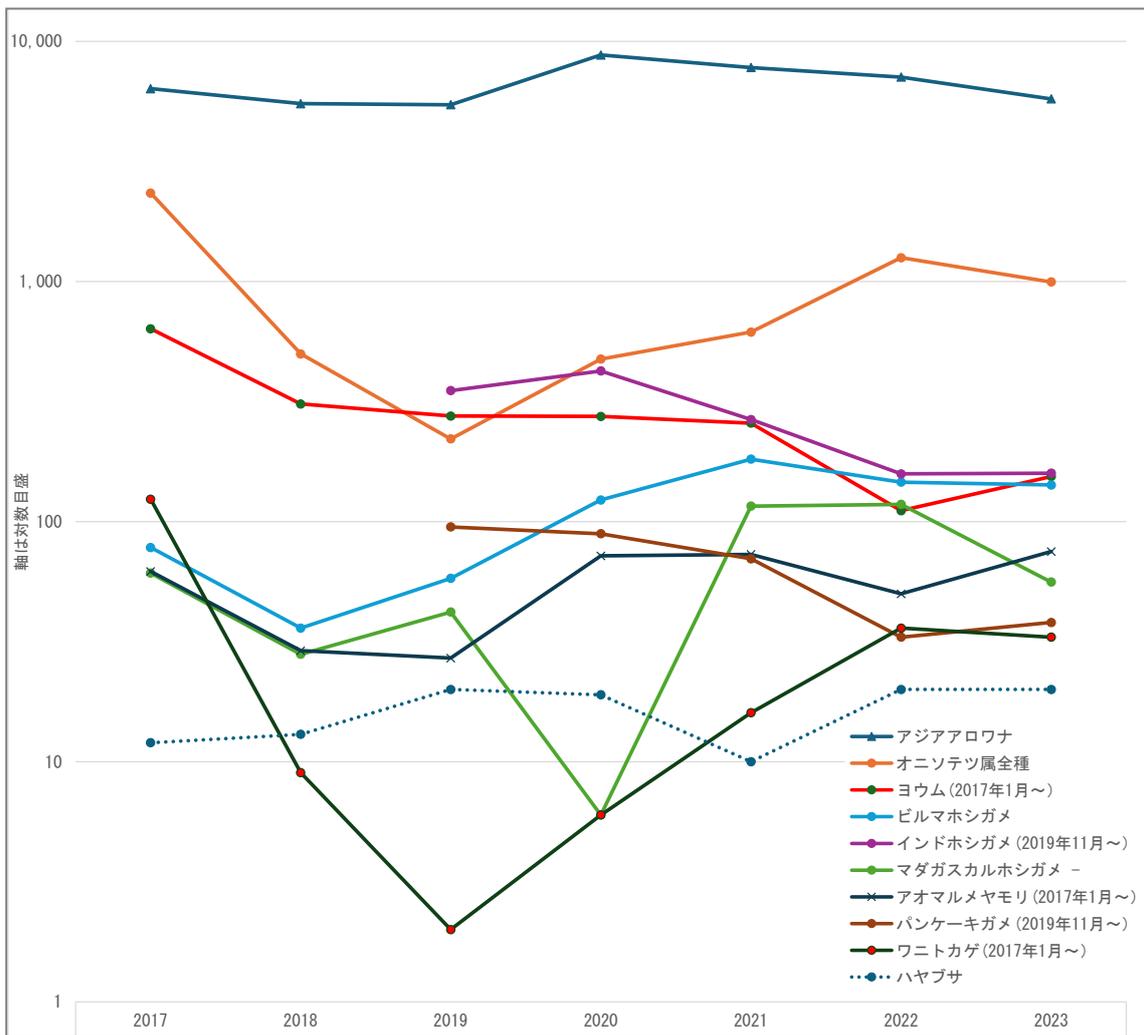
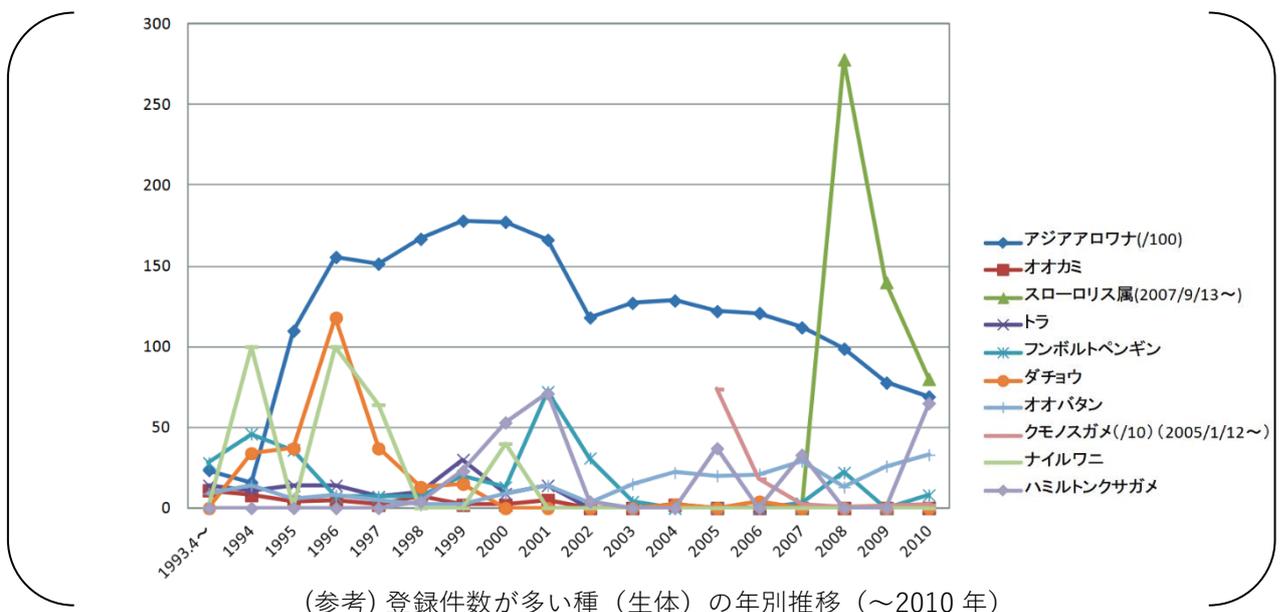


図3 登録件数が多い種（生体）の年別推移



(参考) 登録件数が多い種（生体）の年別推移（～2010年）

表1 2017年～2023年における生体の流通状況（全体）

順位	分類群	種名	国際希少種 指定年	個体識別	2017年から2023年の年別累積登録数							増加数*1	変化率*2	譲受届*3	CITES 登録 繁殖施設
					2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023				
1	魚類	アジアアロワナ	1980	不要	6347	11845	17287	26061	33834	40932	46688	40,341	6.4	5,653	●
2	植物	オニソテツ属全種	1980	不要	2334	2833	3054	3529	4144	5399	6394	4,060	1.7	930	●
3	鳥類	ヨウム	2017	要	667	1200	1680	2190	2654	2803	3052	2,385	3.6	214	●
4	爬虫類	インドホシガメ	2019	要			351	775	1052	1247	1453	1,453	3.1	229	
5	爬虫類	ビルマホシガメ	2013	要	146	211	351	573	1055	1322	1589	1,443	9.9	231	
6	爬虫類	マダガスカルホシガメ	1980	要	122	178	262	274	501	733	891	769	6.3	125	●
7	爬虫類	アオマルメヤモリ	2017	不要	97	155	209	353	499	598	748	651	6.7	78	
8	爬虫類	バンケーキガメ	2019	要			95	184	257	302	356	356	2.7	48	
9	鳥類	ハヤブサ	1980	要	24	55	95	132	151	185	222	198	8.3	18	●
10	爬虫類	ワニトカゲ	2017	要	143	152	154	160	184	231	292	149	1.0	35	
11	爬虫類	ハミルトンクサガメ	1980	要	38	38	39	84	122	174	177	139	3.7	31	
12	哺乳類	コツメカワウソ	2019	要			11	51	82	106	122	122	10.1	5	
13	鳥類	コバタン	2005	要	22	41	54	69	89	113	119	97	4.4	46	●
14	爬虫類	シャムワニ	1980	要	0	48	61	61	64	86	86	86	0.8	0	●
15	爬虫類	おおあたまがめ科全種	2013	要	11	15	31	44	54	79	93	82	7.5	47	
16	魚類	メコンオオナマズ	1980	不要	60	88	118	118	118	118	138	78	1.3	22	●
17	哺乳類	スローロリス属全種	2007	要	21	33	43	58	72	85	92	71	3.4	0	
18	鳥類	アカエリハヤブサ	1980	要	8	26	41	60	68	76	76	68	8.5	0	
19	鳥類	ニョオウインコ	1980	要	2	14	39	44	67	67	68	66	33.0	0	●
20	鳥類	オオバタン	1990	要	27	31	45	55	67	86	93	66	2.4	15	●
21	爬虫類	アンナンガメ	2019	要			20	22	42	42	50	50	1.5	1	
22	鳥類	キエリボウシインコ	2003	要	14	17	30	34	53	57	58	44	3.1	20	
23	爬虫類	ヨウスコウワニ	1980	要	14	40	52	53	53	53	53	39	2.8	2	●
24	爬虫類	ダウディンイロワケヤモリ	2019	不要			21	21	37	37	37	37	0.8	4	
25	爬虫類	ラオスモエギハコガメ	2019	要			8	21	23	25	31	31	2.9	3	
26	爬虫類	モエギハコガメ	2023	要						14	23	23	0.6	6	
27	爬虫類	キノステルノン・コラ	2023	要						12	18	18	0.5	0	
28	植物	オオバンダソテツ	1983	不要	10	13	13	18	18	21	25	15	1.5	3	●
29	爬虫類	ニシキセタカガメ	2023	要						12	12	12	0.0	0	
30	爬虫類	カンボジアモエギハコガメ	2019	要			1	9	10	10	10	10	9.0	0	

■:種の保存法に基づく国際希少野生動物種としての指定年

注:増加数が多い種から順にソートしたもの

\*1 2017年又は指定年から2023年までの値

\*2 最小値(2017年又は指定年)と最大値(2023年)の変化率

\*3 2023年時点での譲受届総数

表2 2017年～2023年における生体の登録・流通状況（鳥類・爬虫類）

分類群	順位	種名	国際希少種 指定年月	個体識別	2017年から2023年の年別累積登録数							増加数*1	変化率*2	譲受届*3	CITES登録 繁殖施設
					2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023				
鳥類	1	ヨウム	2017	要	667	1200	1680	2190	2654	2803	3052	2,385	3.6	214	●
	2	ハヤブサ	1980	要	24	55	95	132	151	185	222	198	8.3	18	●
	3	コバタン	2005	要	22	41	54	69	89	113	119	97	4.4	46	●
	4	アカエリハヤブサ	1980	要	8	26	41	60	68	76	76	68	8.5	0	
	5	ニョオウインコ	1980	要	2	14	39	44	67	67	68	66	33.0	0	●
	6	オオバタン	1990	要	27	31	45	55	67	86	93	66	2.4	15	●
	7	キエリボウシインコ	2003	要	14	17	30	34	53	57	58	44	3.1	20	
	8	ニジキジ	1980	要	0	0	8	8	8	8	8	8	0.0	0	
	9	オオキボウシインコ	2003	要	4	5	6	9	10	11	11	7	1.8	0	
	10	シロビタイムジオウム	1992	要	0	0	0	5	5	6	6	6	0.2	0	
	11	ヒワコンゴウインコ	1985	要	0	0	0	0	1	5	5	5	4.0	6	
	12	パラワンコクジャク	1980	要	0	0	5	5	5	5	5	5	0.0	0	
	13	フィリピンオウム	1992	要	1	1	2	4	4	4	4	3	3.0	0	●
	14	カラヤマドリ	1980	要	0	0	3	3	3	3	3	3	0.0	0	
	15	ミカドキジ	1980	要	0	0	2	2	2	2	2	2	0.0	0	
爬虫類	1	インドホシガメ	2019	要	0	0	351	775	1052	1247	1453	1,453	3.1	229	
	2	ビルマホシガメ	2013	要	146	211	351	573	1055	1322	1589	1,443	9.9	231	
	3	マダガスカルホシガメ	1980	要	122	178	262	274	501	733	891	769	6.3	125	●
	4	アオマルメヤモリ	2017	不要	97	155	209	353	499	598	748	651	6.7	78	
	5	パンケーキガメ	2019	要			95	184	257	302	356	356	2.7	48	
	6	ワニトカゲ	2017	要	143	152	154	160	184	231	292	149	1.0	35	
	7	ハミルトンクサガメ	1980	要	38	38	39	84	122	174	177	139	3.7	31	
	8	シャムワニ	1980	要	0	48	61	61	64	86	86	86	0.8	0	●
	9	おおあたまがめ科全種	2013	要	11	15	31	44	54	79	93	82	7.5	47	
	10	アンナンガメ	2019	要			20	22	42	42	50	50	1.5	1	
	11	ヨウスコウワニ	1980	要	14	40	52	53	53	53	53	39	2.8	2	●
	12	ダウディンイロワケヤモリ	2019	不要			21	21	37	37	37	37	0.8	4	
	13	ラオスモエギハコガメ	2019	要			8	21	23	25	31	31	2.9	3	
	14	モエギハコガメ	2023	要						14	23	23	0.6	6	
	15	キノステルノン・コラ	2023	要							12	18	18	0.5	0

■：種の保存法適用年

注：増加数が多い種から順にソートしたもの

\*1 2017年又は指定年から2023年までの値

\*2 最小値（2017年又は指定年）と最大値（2023年）の変化率

\*3 2023年時点での譲受届総数

## (2) 分類群別の登録状況【加工品、器官等】

加工品（はく製等）における登録件数上位10種の年別推移を分析すると、タイマイの登録件数が2022年に144件、2023年に114件と突出して多く、直近2年間で大幅な増加が見られた。次いでアオウミガメの登録が漸増傾向を示し、2023年には48件に達している。

一方、トラの登録件数は2017年の45件から2023年には16件まで減少し、全体として緩やかな減少傾向を示している。その他、ウンピョウとユキヒョウは2019年に一時的な登録増（それぞれ49件、29件）が見られたものの、その後は極めて少数の登録に留まっている。

器官及びその加工品の登録において、アフリカゾウに関する登録が最も顕著な変動を示している。2018年に2,960件とピークを記録した後、2019年には895件へと大幅に減少し、2020年以降は100件前後で推移している。

ビクナーナについては、比較的安定した登録件数を維持しており、2018年の468件をピークとして、その後は200-260件程度で推移している。一方、インドサイの登録は2018年に507件を記録した後、著しく減少し、近年はほとんど登録が見られない状況となっている。

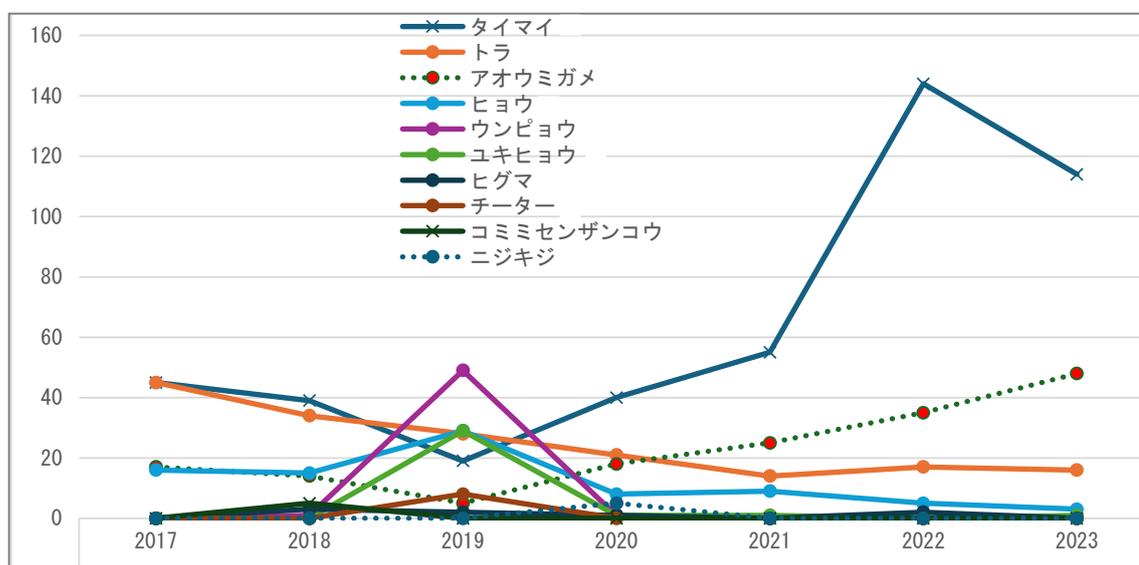


図4 加工品（はく製等）における登録件数上位10種の年別推移  
（生体以外の個体等）

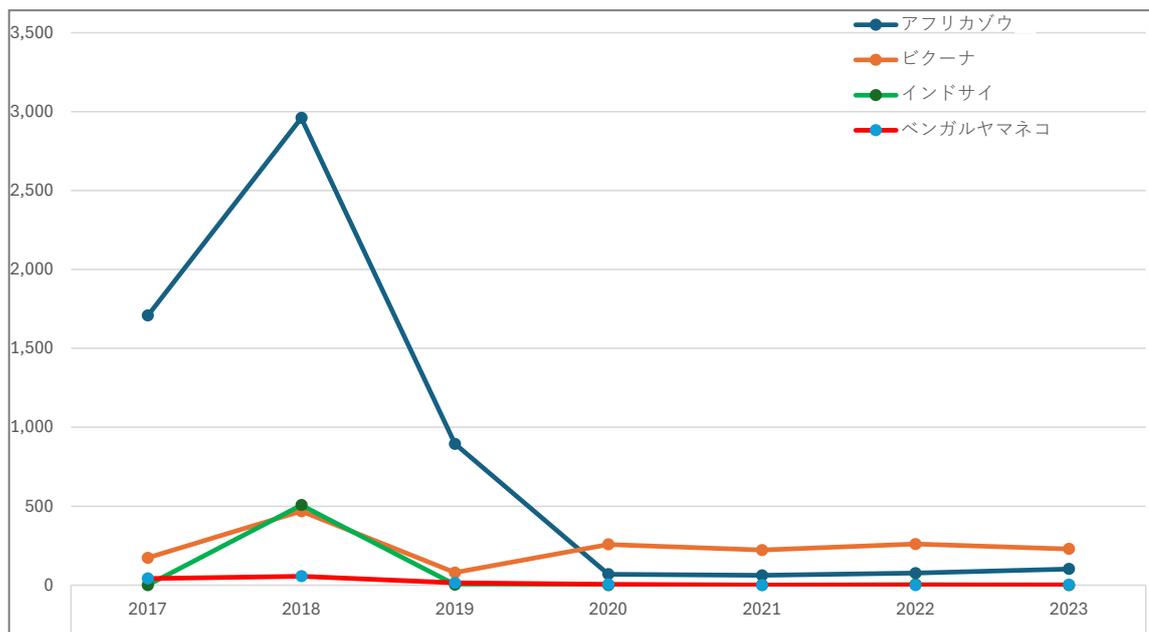


図5 登録件数が多い上位4種（器官）の年別推移

## 2. 違法取引事例に係る情報

種の保存法違反による検挙事件数は下表のとおりである。

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
事件数	75	126	115	137	31	2	15

(警察庁：<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/kezai.html> より引用)

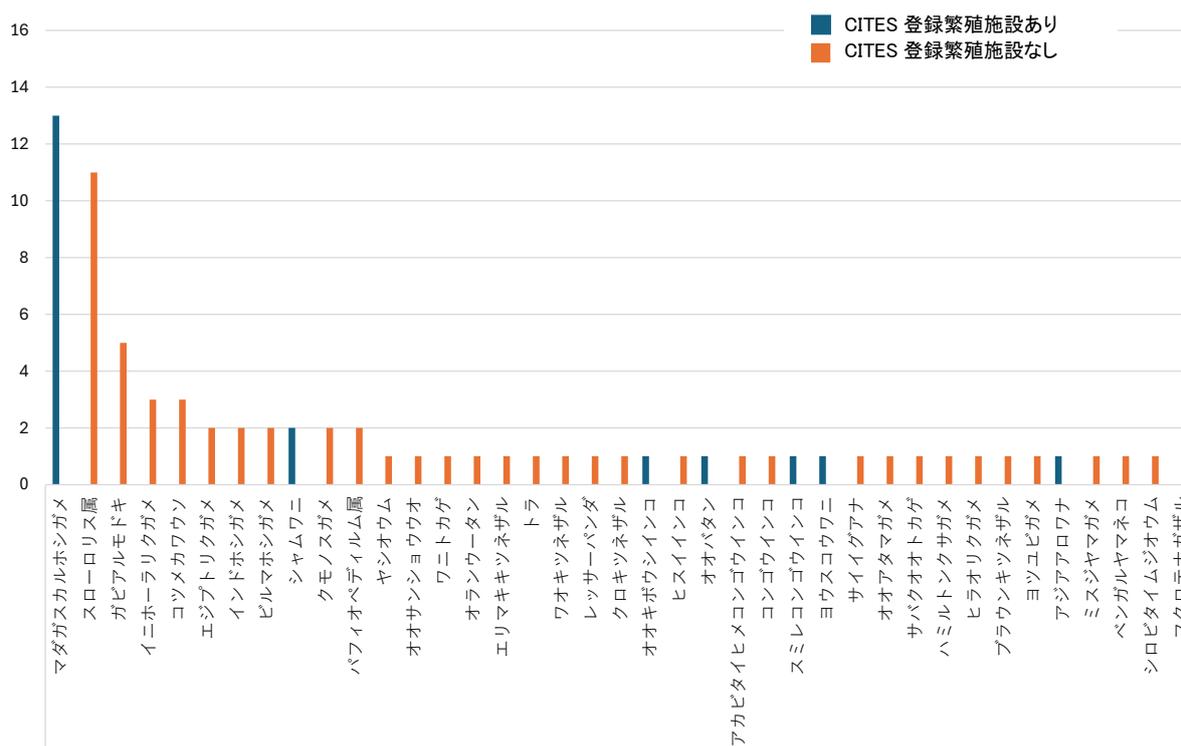
その他、違法取引に係る新聞報道<sup>(※)</sup>、税関での差止め情報、CITES トレードデータベースに基づく輸入量等をもとに、希少野生動植物種の違法取引の実態について調査した。

(※) 新聞報道による摘発事例

この調査は、Nifty が提供する新聞記事検索サービスを利用し、朝日、読売、産経、毎日各紙に掲載された記事を調査した (<https://business.nifty.com/gsh/RXCN/>)。

### (1) 国際希少野生動植物種（生体）の違法取引状況

#### ① 国際希少野生動植物種（生体）の違法報道件数（2000～2023年）



・主に、哺乳類・鳥類・爬虫類等で 75 件、国内希少野生動植物種では鳥類・魚類等で 33 件が確認されている。マダガスカルホシガメが 13 件と最多で、次いでスローロリス属 11 件（スローロリス類 7 件、ピグミースローロリス 3 件、スンダースローロリス 1 件）となっている。

#### ② 国際希少野生動植物種（生体等）の税関による差止め件数（2016～2023年）

税関での差止め処理方法が審理引継となった生体としては、コツメカワウソやスローロリス属の事例が確認された。

税関による差止め事例一覧（生体等）

網	目	科	和名	2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		
				生体	卵/種	生体	卵/種	生体	卵/種	生体	卵/種	生体	卵/種	生体	卵/種	生体	卵/種	生体	卵/種	生体
哺乳類	食肉目	ねこ科	ベンガルヤマネコ			2														
		いたち科	コツメカワウソ	2		5				7										
	霊長目	おまきざる科	ワタボウシタマリン			1														
		ろりす科	スローロリス属全種			4				4										
爬虫類	かめ目	いしがめ科	モエギハコガメ					3												
			ハミルトンクサガメ			6														
		おおあたまがめ科	オオアタマガメ			4														
魚類	こい目	こい科	プロバルブス					2												
植物	-	りゅうぜつらん科	アガヴェ・パルヴィフロラ			1		110	1				2							
		きょうちくとう科	パキユボディウム・アムボンゲンセ	1	1	8		1	2										50	
			パキユボディウム・パロニイ	2	1	3	38	11	294	1	11									
			パキユボディウム・デカリユイ	2				10	1									7		
			パキユボディウム・ウインドソリイ (2024年国際希少野生動植物種に追加)																	156
			パキユボディウム属					2												
		なんようすぎ科	チリーマツ	55				10							21					
		さぼてん科	アリオカルプス属全種					1	277		23		124		28					
			牡丹			24	228													
			兜丸				29		661		4				17	40				
			花籠						347			3								
			精美丸												12					
			ディスコカクトゥス属全種				135		33		38	1	20					40		
			エキノケレウス・フェルレイラヌス・リンドサヨルム																25	
			エスコバリア・ミニマ				12									1			21	
			エスコバリア・スネエディイ										25			1				
			白斜子(マンミルラリア・ペクティニフェラ・ソリス イオイデス)を含む。														89			5
			メロカクトゥス・コノイデウス				25		113											
			メロカクトゥス・グラウケスケンス				58		49											
			帝冠				100		1335		38									
			ペディオカクトゥス・ブラデュイ						91											
			ペディオカクトゥス・クノウルトニイ			1	62		50							12				
			ペディオカクトゥス・パラディネイ													90				
			ペディオカクトゥス・ペエブレシアヌス									43	20							
			ペレキュフォラ属全種						131		11		21					58		
			スクレロカクトゥス・エレクトケントルス										74							

網	目	科	和名	2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		
				生体	卵/種	生体														
植物	さぼてん科	スクレロカクトゥス・グラウクス				1														
		スクレロカクトゥス・マリポセンシス						9												
		スクレロカクトゥス・ニュエンシス				1														
		スクレロカクトゥス・パピュラカントゥス				9						1			2					
		スクレロカクトゥス・プリスピヌス				1														
		スクレロカクトゥス・ウリグティアエ				1			90					200						
		ストロンボカクトゥス属全種			1		1	583		1203	20	102		1						
		トゥルビニカルプス属全種				3	2	464		327	19	118		24		57				112
		ウエベルマンニア属全種						224								5				
		サボテン科										6				93	26	270		
		きく科	木香				91													
	とうだいぐさ科	エウフォルビア・アンボヴォンベシス	2							1										
		エウフォルビア・カプサインテマリエンシス	4																3	12
		エウフォルビア・デカリユイ	4																	
		エウフォルビア・フランコイスイ	6							110	11									
		エウフォルビア・モラティイ	2																	
		とうだいぐさ科															3			
	フオウキエリア科	フオウキエリア・ファスキクラタ								2										
		フオウキエリア・プルプスイ					1				6									
	ゆり科	雪女王							245											
		アロエ・バケリ																		1
		アロエ・コンプレサ				135		353												
		アロエ・デスコイングスイ				206								1						
		アロエ・ヘレナエ												2						
		アロエ・パルヴラ						10												
		アロエ・ピルランスイ	1		2															
		アロエ・ポリュフルラ					119	45												
		アロエ・ラウヒイ			1												34			
	アロエ・スザンナエ												3							
	らん科	デンドロビウム・クルエントウム					15													
		パフィオペディルム属全種	3																	
		らん科														20				
サラセニア科	サルラケニア・オレオフィラ						1												12	
	サルラケニア・ルブラ・アラバメンシス																		6	
	サルラケニア・ルブラ・ヨネスイ																		6	
フロリダそてつ科	オニソテツ属全種												127							

■: 栽培個体は登録不要 ■: ワシントン条約附属書 I 掲載/種の保存法の国際希少野生動植物種指定の適用年

(注) 表中の数字は差止め個体数

(2) 国際希少野生動植物種（生体）の違法取引報道件数と輸入量

・違法取引に係る摘発事例報道件数と輸入量の集計は下表のとおり。

種名	繁殖施設有無(※1)	区分	年																						
			2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
レッサーパンダ		摘発 輸入					1/0																		
トラ		摘発 輸入	1/0	2				1																	
ベンガルヤマネコ		摘発 輸入	1/0																						
コツメカワウソ		摘発 輸入	2				2		4	2	2	18	6	11	10	4	3	6		21	40	0/1	0/2	43	
オランウータン		摘発 輸入	1/0																						
フクロテナガザル		摘発 輸入	1/0																						
ブラウンキツネザル		摘発 輸入					1/0																		
クロキツネザル		摘発 輸入					1/0																		
ワオキツネザル		摘発 輸入					1/0																		
エリマキキツネザル		摘発 輸入					1/0																		
スローロリス属(スンダースローロリス、ピグミースローロリス含む)		摘発 輸入	0/1											2/0						3/0	2/0	1/0		0/1	0/1
シロビタイムジオウム		摘発 輸入		0/1																					
オオバタン	● 2000	摘発 輸入																		1/0					
ヤシオウム		摘発 輸入			1/0																				
ヒスイインコ		摘発 輸入			1/0																				
オオキボウシインコ	● 2017	摘発 輸入	20	5	4	2			1/0																
スマレコンゴウインコ	● (※2)	摘発 輸入		1/0																					
コンゴウインコ		摘発 輸入			1/0																				
アカビタイヒメコンゴウインコ		摘発 輸入			1/0																				
ヨウスコウワニ	● 2000年以前	摘発 輸入	3		10	10							20	7	10								14	5	
シヤムワニ	● 2000年以前	摘発 輸入		94		28	82				55				157	10	14	15	2	2		28	21		22
ガビアルモドキ		摘発 輸入			0/1			1/0	2/0						1/0										
サイイグアナ		摘発 輸入						1/0																	
サバクオオトカゲ		摘発 輸入										1/0													
ワニトカゲ		摘発 輸入			0/1																				
ヨツユビガメ		摘発 輸入													1/0										
ハミルトンクサガメ		摘発 輸入																					1/0		
ミスジヤマガメ		摘発 輸入													1/0										
オオアタマガメ		摘発 輸入							50	55			4	8								1/0			

種名	繁殖施設有無(※1)	区分	年																							
			2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
マダガスカルホシガメ	●	摘発	0/1		0/1	0/1	2/0	1/0	3/0	1/0	1/0			1/0												
		輸入																	30	28	30	40	44	45	9	94
イニホーラリクガメ		摘発					1/0		1/0				1/0													
		輸入																								
インドホシガメ		摘発	0/1																						1/0	
		輸入	700	1920	3970	3640	1619	7488	3766	2246	2201	700	2480	3265	1422	1640	1635	860	770	200	233	1435				
ビルマホシガメ		摘発																								
		輸入	42			20	260	518	240	215	300	5		2	20							1/0				
クモノスガメ		摘発				0/1								1/0												
		輸入	914	163	20	171	697	100																		
ヒラオリクガメ		摘発				0/1																				
		輸入	738	875	10	96																				
エジプトリクガメ		摘発			0/2																					
		輸入																								5
オオサンショウウオ		摘発												1/0												
		輸入																								
アジアアロワナ	●	摘発				1/0																				
		輸入	17042	18353	11384	12811	12799	12907	11560	12194	9557	7993	7207	8025	10571	8415	7827	5917	7776	6281	6468	5638	7596	7690	7215	
パフィオペディルム属	2000年以前	摘発							2/0																	
		輸入	969	3910	4117	5187	4043	6225	5837	7526	8271	14109	18391	10589	10330	10296	7465	8279	7343	17008	5764	15865	13443	15536	33574	969

■:違法取引報道件数3件以上 ■:違法取引報道件数2件 ■:違法取引報道件数1件 ■:輸入実績あり

□:ワシントン条約附属書I掲載/種の保存法の国際希少野生動植物種指定の適用年

□:CITES登録繁殖施設として登録された年 □:CITES登録繁殖施設が取り消された年

※1:「繁殖施設の有無」はCITES認定の繁殖施設(Register of captive-breeding operations)の有無を示し、有る場合は施設認定がされた西暦を記載(2000年以前は一律に2000年以前と整理)

※2:スミレコンゴウインコについては、2014年に登録されたが、ボリビアの異議申し立て等により2016年に登録取消し。その後、2021年に再度登録された経緯あり。

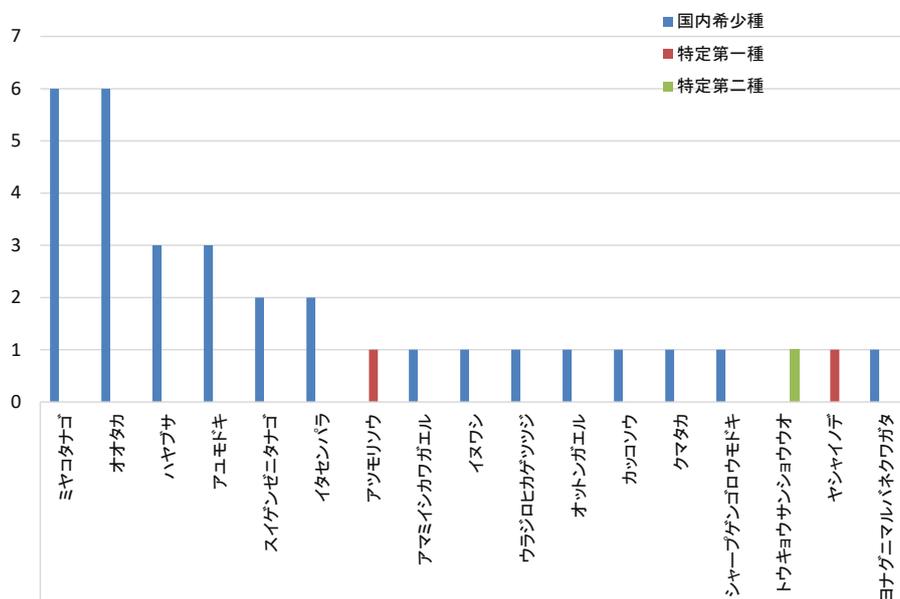
(注)・表中の数字は(種の保存法に基づく摘発/それ以外の法令等に基づく摘発)

・輸入実績(生体)はCITESトレードデータベースに基づく

・パフィオペディルム属の輸入実績はパフィオペディルム属に含まれる種全ての合計値とした

### (3) 国内希少野生動植物種（生体）の違法報道件数

- 国内希少野生動植物種（生体）の違法報道件数（2000～2023年）は下図のとおり。



- 特に魚類と猛禽類での違法摘発事例が多く、具体的には、魚類ではミヤコタナゴの他、アユモドキ、スイゲンゼニタナゴ、イタセンパラなどが、猛禽類ではオオタカの他、ハヤブサ、イヌワシ、クマタカなどが確認されている。